

先進的 窓リノベ 2024事業



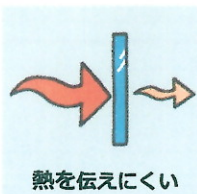
先進的窓リノベ2024事業は、断熱窓への改修を促進し既存住宅の省エネ化を促すことで、エネルギー費用負担の軽減、健康で快適なくらしの実現及び家庭からのCO₂排出削減に貢献するとともに、断熱窓の生産効率向上による関連産業の競争力強化と成長を実現させることを目的とする事業です。

本事業の目的

住宅の窓の断熱性能を高めた省エネルギー性能の高い住宅を普及させることで、エネルギー価格高騰への対応や、家庭からのCO₂排出量削減への貢献を目的とします。

エネルギー価格高騰への対応

CO₂排出量削減への貢献



住宅の断熱化による健康への好影響として、健康診断結果の成績向上、睡眠の質向上、子供の喘息防止、入浴事故（ヒートショック等）リスクの低減が期待できます。

<参考>

省エネ住宅で節約できる年間の光熱費、住宅の断熱化による健康への好影響



省エネで健康・快適な住まいづくりを！



開口部の重要性

住宅の断熱性能を高めるためには、冬は家の中の暖かい空気や熱を外に逃がさない、夏は外の暑い空気や熱を家の中に入れないことが有効です。

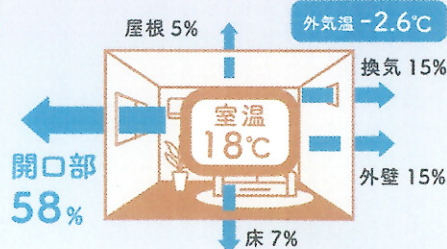
特に、窓等の開口部における熱の流入は住宅全体の6～7割に及び、大きな割合を占めるとされています。

これは日本の住宅の窓の約7割が、熱の流入量が大きい「アルミサッシ+単層（1枚）ガラス」の組み合わせであることが原因とされています。

住宅の窓を高断熱の窓に改修することで、高い省エネ効果が期待できます。

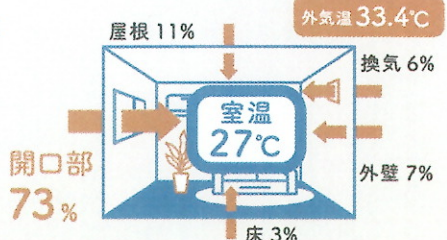
冬の暖房時の熱が
開口部 から
流失する割合

58%



夏の冷房時（昼）に
開口部 から
熱が入る割合

73%



改修の効果

あなたの窓の改修前の窓の熱貫流率は

4.0

(W/m²・K) ですが

改修後の窓の熱貫流率は

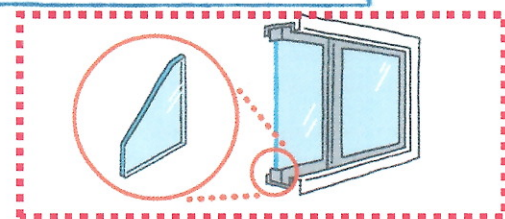
1.9

(W/m²・K)

まで向上します!!

※ 熱貫流率とは、室内側と室外側の温度差を1℃とした時、窓ガラス1m²に対して、1秒間に通過する熱量のことをいいます。この熱貫流率の値が低いほど高い断熱性能を示します。

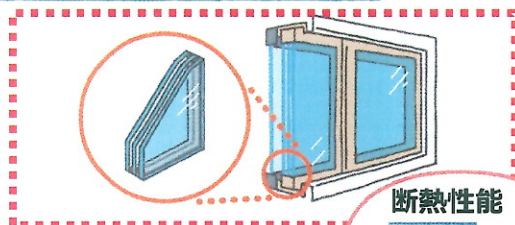
●改修前の窓 (アルミ+単板)



熱貫流率 **4.0** (W/m²・K)



●改修後の窓 (樹脂等+複層)



断熱性能
2.1 倍
に向上

断熱性能UP!

熱貫流率 **1.9** (W/m²・K)

Low-E複層ガラスの場合の使い方

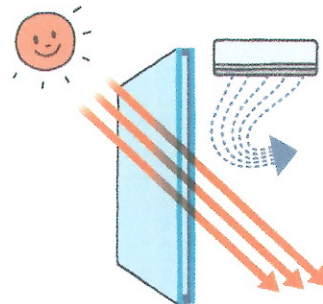
Low-E複層ガラスは二つのタイプを条件に合わせて使い分けることで、更に大きな省エネ効果を発揮できます。

※ Low-E複層ガラスとは、高断熱の複層ガラスにLow-E金属膜をコーティングすることで、より断熱性能を高めたガラスのことです。

リビング

の窓には

日射取得型

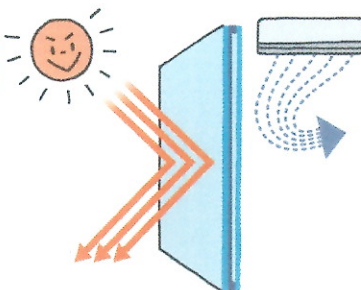


日差しをほどよく取り入れる「日射取得型」は、冬の低い位置の太陽から日差しを取り入れて室内を温めることができます。太陽の高度が高くなる夏に日差しの量が多すぎる場合には、軒やひさしをつけることで、太陽の直射日光を防ぐこともできます。

寝室

の窓には

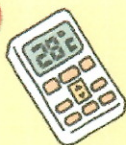
日射遮蔽型



高度の低い西日は軒やひさしでは遮りにくいので、夏の強い日差しをカットする「日射遮蔽型」のガラスが適しています。窓の外側で日射を遮るすだれやシェードなどを併用するとより遮熱効果がアップします。

その他の省エネ

窓の高断熱化で省エネ効果高めるとともに、普段の生活の中で、エアコンの使い方の見直しなどを行うと更に省エネ効果が高まります。



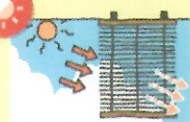
室内の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げましょう。



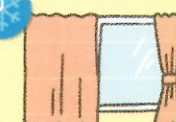
重ね着するなどして、無理のない範囲で室内温度を下げましょう。



目詰まりしたフィルターを清掃しましょう。



日中は“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげましょう。



窓には厚手のカーテンを掛けましょう。

先進的窓リノベ2024事業専用サイト

<https://window-renovation2024.env.go.jp/>



●●リフォーム株式会社

TEL XXX-XXXX-XXXX

(通話料が発生しますのでご注意ください)

受付時間

XX:XX~XX:XX

※本チラシは事務局から提供された資料に基づいて窓リノベ事業者が作成したものです。

個人のお客様ビジネスのお客様Global(企業情報) >

住宅省エネ2024キャンペーン（「国土交通省・経済産業省・環境省」3省連携による住宅の省エネ化支援強化策＜補助制度＞） 先進的窓リノベ2024事業 事業の概要

先進的窓リノベ2024事業 （断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業）

TOP

事業の概要

YKK AP対象製品（準備中）

事業の概要

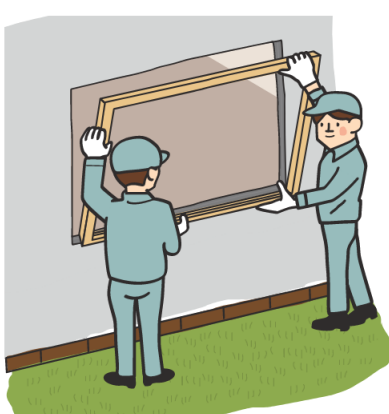
対象となる「窓改修」の種類と必要性能 ▼ 補助額 ▼ 対象期間 ▼

対象となる「窓改修」の種類と必要性能

窓の改修を行い、改修後の窓の性能が、対象住宅の種類に応じて下表に掲げる熱貫流率の基準を満たすものについて、補助金交付の対象となります。

地域に関係なく、下記の性能が必要です。

下記工事を実施・申請すると「子育てエコホーム支援事業」の必須工事以外の工事（[こちらの表の④～⑧](#)）もあわせて申請可能となります。

工事の種類		ガラス交換	内窓設置	外窓交換（カバー工法）	外窓交換（はつり工法）
		既存窓を利用しガラスを交換 	既存窓の内側に新たな窓を新設 	既存窓を残して新たな窓で覆う 	既存窓を取り除き新たな窓に交換 
必要性能	戸建住宅 低層集合住宅 (3階建以下)	熱貫流率 Uw1.9以下	熱貫流率 Uw1.9以下	熱貫流率 Uw1.9以下	熱貫流率 Uw1.9以下
	中高層 集合住宅 (4階建以上)	熱貫流率 Uw1.9以下	熱貫流率 Uw1.9以下	熱貫流率 Uw2.3以下	熱貫流率 Uw1.9以下

ドアの断熱改修

改修を行う住戸のドアを、窓の改修と同一契約内で断熱性能の高いドアに改修することで補助対象となります。

- 必要断熱性能：窓改修と同じ値＝Ud値1.9以下 ※中高層集合住宅（4階建以上）のカバー工法はUd値2.3以下
- 補助単価：同一改修方法、同一断熱性能区分、同一サイズ区分の窓と同額
- 対象製品：事務局に対象製品として登録された製品が対象



補助額

以下の表に示す補助額に、施工箇所数を乗じて算出した補助額となります。建物種別、窓の性能、大きさにより窓1箇所ごとの補助額が異なります。

補助額の上限は1戸あたり200万円です。1申請あたりの合計補助額が50,000円未満の場合は申請できません。

■戸建住宅・低層集合住宅（3階建以下）の場合

今回からドアも対象に!

今回からドアも対象に!

グレード	熱貫流率	大きさ区分	ガラス交換 ^{※1}		内窓設置		外窓交換／ドア交換 (カバー工法)		外窓交換／ドア交換 (はつり工法)	
			面積	1枚あたりの補助額	面積	1箇所あたりの補助額	面積	1箇所あたりの補助額	面積	1箇所あたりの補助額
SS	Uw 1.1 以下	大	1.4㎡以上	55,000円	2.8㎡以上	112,000円	2.8㎡以上	220,000円	2.8㎡以上	183,000円
		中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	34,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	76,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	163,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	136,000円
		小・極小 ^{※2}	0.8㎡未満	11,000円	1.6㎡未満	48,000円	1.6㎡未満	109,000円	1.6㎡未満	91,000円
S	Uw 1.5 以下	大	1.4㎡以上	36,000円	2.8㎡以上	68,000円	2.8㎡以上	149,000円	2.8㎡以上	118,000円
		中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	24,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	46,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	110,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	87,000円
		小・極小 ^{※2}	0.8㎡未満	7,000円	1.6㎡未満	29,000円	1.6㎡未満	74,000円	1.6㎡未満	59,000円
A	Uw 1.9 以下	大	1.4㎡以上	30,000円	2.8㎡以上	52,000円	2.8㎡以上	117,000円	2.8㎡以上	92,000円
		中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	19,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	36,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	87,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	69,000円
		小・極小 ^{※2}	0.8㎡未満	5,000円	1.6㎡未満	23,000円	1.6㎡未満	58,000円	1.6㎡未満	46,000円

※1 ガラス交換は箇所数ではなく、交換するガラスの枚数を乗じて算出

※2 小：ガラス1枚の面積0.1㎡以上0.8㎡未満、窓1箇所の面積0.2㎡以上1.6㎡未満 / 極小：ガラス1枚の面積0.1㎡未満、窓1箇所の面積0.2㎡未満

■中高層集合住宅（4階建以上）の場合

今回からドアも対象に!

今回からドアも対象に!

グレード	熱貫流率	大きさ区分	ガラス交換 ^{※1}		内窓設置		外窓交換／ドア交換 (カバー工法)		外窓交換／ドア交換 (はつり工法)	
			面積	1枚あたりの補助額	面積	1箇所あたりの補助額	面積	1箇所あたりの補助額	面積	1箇所あたりの補助額
SS	Uw 1.1 以下	大	1.4㎡以上	55,000円	2.8㎡以上	112,000円	2.8㎡以上	266,000円	2.8㎡以上	266,000円
		中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	34,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	76,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	181,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	181,000円
		小・極小 ^{※2}	0.8㎡未満	11,000円	1.6㎡未満	48,000円	1.6㎡未満	112,000円	1.6㎡未満	112,000円
S	Uw 1.5 以下	大	1.4㎡以上	36,000円	2.8㎡以上	68,000円	2.8㎡以上	180,000円	2.8㎡以上	180,000円
		中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	24,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	46,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	122,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	122,000円
		小・極小 ^{※2}	0.8㎡未満	7,000円	1.6㎡未満	29,000円	1.6㎡未満	75,000円	1.6㎡未満	75,000円
A	Uw 1.9 以下	大	1.4㎡以上	30,000円	2.8㎡以上	52,000円	2.8㎡以上	148,000円	2.8㎡以上	148,000円
		中	0.8㎡以上 1.4㎡未満	19,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	36,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	101,000円	1.6㎡以上 2.8㎡未満	101,000円
		小・極小 ^{※2}	0.8㎡未満	5,000円	1.6㎡未満	23,000円	1.6㎡未満	62,000円	1.6㎡未満	62,000円
B	Uw 2.3 以下	大	－	－	－	－	2.8㎡以上	102,000円	－	－
		中	－	－	－	－	1.6㎡以上 2.8㎡未満	70,000円	－	－
		小・極小 ^{※2}	－	－	－	－	1.6㎡未満	43,000円	－	－

※1 ガラス交換は箇所数ではなく、交換するガラスの枚数を乗じて算出

※2 小：ガラス1枚の面積0.1㎡以上0.8㎡未満、窓1箇所の面積0.2㎡以上1.6㎡未満 / 極小：ガラス1枚の面積0.1㎡未満、窓1箇所の面積0.2㎡未満

対象期間

	令和5年		令和6年									令和7年			
	11月	12月	1月	2月	3月	・・・・・・・・・・・・・・・・					11月	12月	・・・・・・・・・・		7月
事業者登録※2	令和6年1月中旬～遅くとも令和6年12月31日（予定） ※登録事業者の公開は随時														
契約	契約日は問わず														
対象工事着手※1	令和5年11月2日～（リフォームは 令和6年12月31日までに工事が完成すること）														
交付申請の予約	令和6年3月下旬～遅くとも令和6年11月30日（予定） ※予算執行状況により終了が早まる場合あり														
交付申請	令和6年3月下旬～遅くとも令和6年12月31日（予定） ※予算執行状況により終了が早まる場合あり														
完了報告（新築のみ）	戸建住宅：～令和7年7月31日／共同住宅10階建て以下：～令和8年4月30日／共同住宅11階建て以上：～令和9年2月28日														

※1：対象工事＝リフォーム工事

※2：令和4年度補正予算に基づく「こどもエコすまい住宅支援事業を含む住宅省エネ2023キャンペーン」にて事業者登録をされている場合、所定の手続きにて、本事業へ事業者登録の移行が可能です（詳細については、事務局のホームページ上で情報が公開される予定です）



YKK AP公式企業ページ



YKK AP公式ブランドページ



YKK AP公式チャンネル



YKK AP公式アカウント

ソーシャルメディア一覧

[サイトご利用条件](#) [サイトリンク条件](#) [個人情報保護方針](#) [ソーシャルメディアポリシー](#) [推奨環境](#)

COPYRIGHT © YKK AP Inc. ALL RIGHTS RESERVED